

牛久：学校周辺に見る自然

第53号 ひたち野うしく小

2021年1月25日発行

< 秋のみずべ公園 ～⑫秋の花と紅葉 >

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回は咲いていた花と、紅葉し始めた木の葉です。



秋の花の代表とも言えるセイトカアワダチソウ(左)と、アキノゲシ(右)。どちらも、キク科のなかま。

まずは、秋を代表する花、セイトカアワダチソウとアキノゲシ。どちらもキク科のなかまで、チョウやハチが蜜を吸いに来ます。そう、セイトカアワダチソウは虫が花粉を運ぶのです。だから、よほどたくさんの花粉を吸わないかぎり、この花で花粉症にはなりにくいのです。



初夏から咲き続けるイヌタデ(上左)と、ツククサ(上中)、ムラサキツメクサ(上右)、イヌホオズキのなかま(下)。

夏の花ですが、まだ咲き続けているものもありました。ツククサは、雨にぬれてよりいっそう美しく見えました。ムラサキツメクサには、蜜を吸いにハチが訪れていましたね。マメ科のなかまには、よくハチが来ます。





夏から秋に咲くハッカ(左、中)と、ヒメジソ(右)。どちらも、シソ科のなかま。

葉をもむとスツとよい匂いのするハッカが、まだ少し咲いていました。よく見ると、花の色や葉の形などに少し違いもみられますね。同じシソ科のなかま、ヒメジソも咲いていましたが、花は大部分終わっていました。



夏から秋に咲くミゾソバ(左)と、ミズヒキ(右)。どちらも、タデ科のなかま。

同じく夏から秋に咲きますが、こちらはタデ科のなかま、ミゾソバとミズヒキです。小さな花ですが、虫めがねでよく見るととても美しくかわいい花ですよ。ミゾソバにはチョウやハナアブのなかまがたくさん来ていましたね。その他、季節外れの花や紅葉も見られました。【理科支援員：宮内】



季節外れに咲いていたオオジシバリ(左上)とエゴノキ(中上)、ハクチョウゲ(右上)、クサギ(左下)。紅葉し始めたヤマザクラ(中下)とハコネウツギ(右下)。